

コード	303030601
記入日	H25.5.31

課コード	110
課名	福祉長寿課
課長名	峯脇 泉
担当者	平尾 好春

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	単位老人クラブ補助事業
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 . 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	303	施策名称	お年寄りの元気を支える体制づくり	項コード	1
基本事業コード	30303	基本事業名称	高齢者の生きがい対策の推進	目コード	3
事務事業コード	3030306	事務事業名称	老人クラブ活動等補助事業費	細目コード	239
関連計画	新上五島町老人保健福祉計画	法令・条例規則等	新上五島町補助金交付規則		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 単位老人クラブ		(対象指標1) 58クラブ				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・58単位老人クラブに補助金を交付した。 →補助金額 2,726,000円 (1クラブ47,000円)	***** 補助金交付クラブ数	***** 58クラブ	***** 100%	***** 補助金交付数÷ 補助金申請数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	申請クラブの内容を審査し、すべてのクラブに交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・単位老人クラブが行う各種活動が円滑に実施できるよう助成を行う。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 会員数	***** 3,208人	***** 90.5%	***** 会員数÷ 前年度会員数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	単位老人クラブの活動が活発に行われているが、休止地区もあるため関係者と連携し再活動を促す。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① クラブ数	58	58	61	58	58				
	②									
成果指標	① 会員数	3,543	3,208	3,543	3,543	3,208				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	25,101	25,101	22,375	2,726	2,726				
直接事業費 A	千円	25,101	25,101	22,375	2,726	2,726				
人件費 B	千円									
内訳	従事職員数	人								
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円	14,073	14,073	12,356	1,717	1,717			
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	11,028	11,028	10,019	1,009	1,009				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	高齢社会に対応した団体として必要である。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	活発に活動しており地域活動への参加も積極的である。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理 由	活動がマンネリ化しないよう新たな取組を自発的に出来るよう支援する。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	活動の助成として適切である。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理 由	会員数で助成しても全体では変わらない。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	各地区において高齢者の活動が、生きがい対策及び地域貢献につながっていくものであることから、今後も支援していくこと。
------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。